

(3) 令和7年度事業実施状況

(4) 令和8年度事業計画

令和8年2月6日(金)

一般財団法人岡山県国際交流協会

Okayama Prefectural International Exchange Foundation (OPIEF)

(3) 令和7年度事業実施状況

1. ネットワークづくり(オンライン交流会)
 - ①日本語学習サポーターオンライン交流会(全2回)
 - ②子ども日本語学習サポーターオンライン交流会(全1回)
 - ③にほんごカフェ(全1回)
2. 日本語学習サポーター研修
 - ①日本語学習サポーター初期研修(全5回)
 - ②子ども日本語学習サポーター研修会(全1回)
3. (モデル地域1)赤磐市における日本語教室
あかいわにほんご教室(全14回)
4. (モデル地域2)吉備中央町における日本語教室
 - ①やさしい日本語研修会・にほんご勉強会&交流会(全1回)
 - ②日本語学習サポーター初期研修(全5回 ハイブリッド開催)
 - ③きびちゅうおうにほんご教室試行(全5回)
5. オンライン日本語講座
 - ①日本語ボランティアスキルアップ研修会「オンラインで学習支援」(全1回)
 - ②オンライン日本語講座入門クラス試行(全6回、うち1回はオリエンテーション)
6. その他

1. ネットワークづくり(オンライン交流会)

- ①日本語学習サポーターオンライン交流会(2回)
- ②子ども日本語学習サポーターオンライン交流会(1回)
- ③にほんごカフェ(1回)

① 日本語学習サポーターオンライン交流会

目的:地域日本語教育に携わる人々との情報共有とネットワークづくり



日時	参加者
第1回 5/30 (火) 19:30~21:00	11
第2回 12/3 (水) 19:30~21:00	13

② 子ども日本語学習サポーターオンライン交流会 10/7(火) 19:00~21:00

全体テーマと情報提供者

1)『おかやまグローバルこどもサポートセンターの取り組み』

濱田さゆり氏
(公益財団法人橋本財団 事務局長)

2)『特別の教育課程』『日本語科について』

桑原直子氏
(岡山理科大学附属高校通信課程国際プログラム教諭)

5

参加者27名(申込者34名)

地域	人数	年齢	人数	支援歴	人数
岡山市	15	30代	3	なし	19
総社市	3	40代	4	1年未満	3
倉敷市	2	50代	10	3年以上5年未満	2
笠岡市	2	60代以上	9	5年以上10年未満	1
瀬戸内市	1	不明	1	10年以上	1
井原市	1			不明	1
赤磐市	1				
埼玉県	1				
ベトナム	1				

6

活動先(複数回答可)	人数 (13)
未就学児童支援	1
小学校	2
中学校	2
日本語学校	3
地域日本語教室	4
企業・組合	1
オンライン(個人・団体)	1
専門学校	1
県外子ども支援グループ	1
なし	1

7

③ にほんごカフェ 12/8(木)19:30~21:00

- 目的 ・近隣地域の学習者、サポーターとの交流
 ・関心のあるテーマについて情報交換

学習者(N=8 申込者19名)		在留資格(N=8)		居住地域		
地域	学習者(N=8)	サポーター(N=8)	地域	学習者(N=8)	サポーター(N=8)	
ベトナム	2	留学	3	岡山市	3	4
インドネシア	2	特定技能	2	赤磐市	3	1
バングラデシュ	1	日本人の配偶者等	1	倉敷市	0	1
メキシコ	1			笠岡市	0	1
中国	1	家族滞在	1	久米南町	1	0
不明	1	不明	1	兵庫県	1	0

8

サポーター参加動機 複数回答可

外国人と交流がしたかった	6
オンラインでの交流に興味があった	1
日本語教育に興味があった	3
日本語学習支援の状況を知りたかった	1

**1回目 地域別
ブレイクアウトルーム**

ルーム	地域
Room1	岡山市①
Room2	岡山市②
Room3	赤磐市
Room4	吉備中央町
Room5	その他

**2回目 テーマ別
ブレイクアウトルーム**

Room1	自国の文化の紹介
Room2	留学体験
Room3	地域の日本語教室でやりたいこと
Room4	日本語の勉強のしかた
Room5	イベント情報

9

終了後アンケート結果 満足度と今後の参加希望

	学習者 (N=5)	サポーター (N=8)
とても満足	4	2
満足	1	4
少し残念	0	1
無回答	0	1
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人と話せてよかった。 ・楽しみながら実践的に学習することができた。 ・トピックの選び方がよく、学習の方向性を示してくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語を学んでいる人と楽しく話すことができた。 ・対面ではなかなか会えない人と話すことができた。 ・日本語教師について知ることができた。 ・同じルームの学習者の日本語レベルが違って、話しくかった。 ・ルームの学習者はほとんど日本語が理解できず、日本人だけで話して終わった。
今後も参加したい	5	NIL

コーディネーター所感

- ・ 現在、オンラインによる学習支援は「日本語講座」のみを検討中であるが、日本語を「教える側」と「学ぶ側」という従来の日本語教室の枠組みではなく「自国の文化紹介」「イベント情報」など、双方が共通して身近に感じられる話題について双方向の交流を重視した交流型「カフェ」の二本立てで考えてもよいのではないか。
- ・ 地域別ルームを設けたことで、同じ地域の参加者同士が知り合うことができた。特にふだん外に出ることが難しい「ママ友」としてのつながりが生まれた。また、日本語を使う機会があまりない学習者の実践の場となった。
- ・ 対面中心のモデル日本語教室では出会えなかった学習者とつながることができた。

* 学習者、支援者への**広報**が事業全体の課題。

11

2. 日本語学習サポーター研修

- ① 日本語学習サポーター初期研修(全5回)
- ② 子ども日本語学習サポーター研修(1回)



12

① 日本語学習サポーター初期研修 9/6~12/6(全5回)

(後述)

13

② 子ども日本語サポーター研修会 8/3(全1回)

居住地	参加人数 46名 (対面31、オンライン 15)
岡山市	19
総社市	2
倉敷市	13
笠岡市	5
真庭市	2
瀬戸内市	1
井原市	1
赤磐市	1
不明	2

支援経験	人数
1年未満	7
1~3年	9
3~5年	4
5~10年	4
10年以上	4
なし	16
不明	2

14

活動先 (複数回答)	人数(N=46)		
未就学児童支援	2	企業	1
小学校	17	オンライン	3
中学校	9	海外	2
高校	1	市町村関係者	1
夜間中学	1	なし	8
専門学校	11	不明	2
日本語学校	7		
地域日本語教室	16		

15

3.(モデル地域1)赤磐市における日本語教室

あかいわにほんご教室
令和7/5/25～令和8/2/8(全14回)

9月 赤磐市担当日本語教育コーディネーター新規採用



16

日時	学習者 25名	サポーター 27名	合計 52名
5/25	9	11	20
6/ 8	11	13	24
6/22	12	12	24
7/13	4	11	15
7/27	9	11	20
8/24	5	5	10
9/28	7	12	19
10/12	8	9	17
10/26	4	8	12

11/9	9	5	14
11/30	4	10	14
12/14	4	5	9
1/25	8	9	17
2/8(予定)			

17

4.(モデル地域2) 吉備中央町における日本語教室

- ①やさしい日本語研修会・にほんご勉強会 & 交流会(全1回)
- ②日本語学習サポーター初期研修(前5回、ハイブリッド開催)
- ③きびちゅうおうにほんご教室 試行(全5回)

18

① やさしい日本語研修会・にほんご勉強会 & 交流会(全1回)

日時 令和7年9月7日(日) 13:00~15:30

目的

- ・「やさしい日本語」の普及
- ・日本語教室開講に向けての周知
- ・地域のサポーター、学習者の掘り起こし

会場

ロマン高原かよう総合会館
(吉備中央町)

項目	参加者数
やさしい日本語研修会(対象:県民)	16名
にほんご勉強会(対象:日本語学習者)	10名 (+サポーター1名)
交流会(対象:上記事業参加者全員)	27名

19



20

②日本語学習サポーター初期研修 (全5回 ハイブリッド開催)

9/6~12/6(対面 吉備中央町)

1. 地域日本語教室の役割
2. 日本語教育の参照枠
日本語能力の熟達度
3. 日本語の知識
国語との違い、日本語教育文法など
4. 日本語の教材
第二言語習得の知見
5. 日本語学習支援の例



21

参加者43名(申込者 59名)

居住地				人数		年齢		人数		支援経験		人数	
吉備中央町	13	井原市	1	30代	4	あり	16						
岡山市	15	瀬戸内市	2	40代	6	なし	21						
備前市	1	和気郡	2	50代	13	不明	6						
津山市	4	苫田郡	1	60代	11	出席回数		人数					
赤磐市	2	小田郡	1	70代	4	5回	6	4回	6				
総社市	1			不明	5	3回	9	2回	7				
						1回	15						

22

③ きびちゅうおうにほんご教室 試行 11/16~12/20(全5回)

日時	会場	学習者 5名 ＜内訳＞ インドネシア 3名 フィリピン 1名 アメリカ 1名	サポーター 8名 初期研修参加者 7名 不参加 1名
いずれも 10:30-12:00			
11/ 16(日)	農村環境改善センター	1	2
11/29(土)	豊野公民館	3	5
12/6(土)	農村環境改善センター	1	3
12/13(土)	吉川公民館	2	3
12/ 20(土)	吉川公民館	2	5

23



24

アンケート結果

学習者

- ・同じグループで学んだ人たちがたくさん助けてくれたので学びやすかった。
- ・他の参加者や先生から、自分と似た興味・関心を学ぶことができた。

サポーター

- ・相手にわかりやすい「やさしい日本語」で話すよう心がけようと思った。
- ・外国人の出身国の文化・習慣に対する関心が広がった。
- ・共生社会の実現の必要性をより感じるようになった。

25

希望曜日・時間帯

	学習者	サポーター
土曜日 午前	2	2
日曜日 午前	1	1
平日 夜	1	0
土曜日 午後	0	2
日曜日 午後	0	1
平日 午前	0	1
平日 午後	0	1

希望場所

	学習者	サポーター
吉備中央町立吉川公民館	2	1
ロマン高原かよう総合会館	0	1
吉備中央町立豊野公民館	0	1
吉備中央町立 農村環境改善センター	0	0
オンライン	0	0
不明	0	1

26

コーディネーター所感

- 初期研修のハイブリッド開催は、オンラインについては県全体からの参加が得られたこと、対面会場については地域の参加者同士のつながりができたことが利点であった。
- 試行した3か所の会場の中で賀陽庁舎付近在住の参加者が最も多かったが、全体的に参加者が非常に少なかった。
- 日本語教室空白地域の中で2番目に外国籍住民が多い地域として吉備中央町を第二のモデル地域として選んだが、交通の便などを考慮すると人数だけでは判断できないことが改めてわかった。

27

- すべてを対面で実施することが難しい状況であれば、たとえばオンラインと対面の混合型教室運営も視野に入れる必要がある。対面は、日本語学習支援にとどまらず、地域住民と外国人が日本語を介して共に活動し、互いを理解し合う貴重な場として充実させていきたい。
- 今後オンラインによる研修・支援に力を入れて取り組んでいきたい。
- 初心者対象の日本語講座の場合、言語面のフォローや学習のアドバイスなどできる母語話者のサポーターがいるとよい。
- 言語学習を越えて、共生社会の実現に向かうために各地域のイベント情報を収集し、イベントと日本語学習をうまく連携できるとよい。

28

5. オンライン日本語講座入門クラス 試行

- ① 日本語ボランティアスキルアップ研修会(1回)
- ② オンライン日本語講座(全6回)
 - ・サポーターオリエンテーション 1回
 - ・日本語講座 5回

29

① 日本語ボランティアスキルアップ研修会 「オンラインで学習支援」(全1回) 12/14(土)



講師:熊野七絵氏

(国際交流基金 日本語教育専門員)

30

支援経験年数	参加人数 27名 (申込者40名)	年代	人数	居住地	人数
なし	6	20代	1	岡山市	11
1年未満	6	30代	1	赤磐市	1
1～5年	7	40代	6	倉敷市	2
6～10年	1	50代	9	井原市	1
11～20年	2	60代	6	総社市	1
20年以上	5	不明	4	浅口市	1
不明	0			鏡野町	1
				広島県	3
				鳥取県	1
				山口県	4
				海外	1

オンラインによる 支援経験	人数
あり	10
なし	17

31

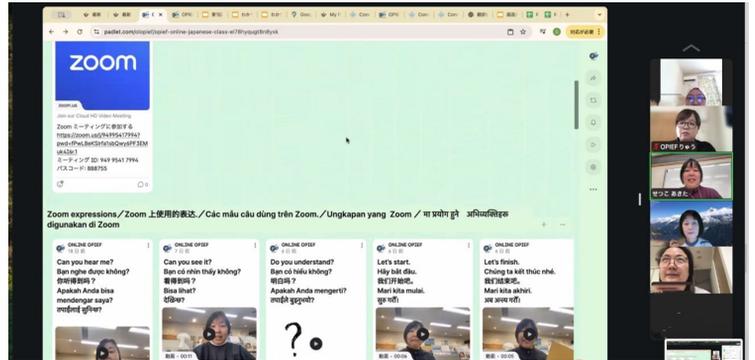
② オンライン日本語講座 入門クラス 試行 令和8年 1/9~1/27 (全6回 うち1回はオリエンテーション)

学習者 国籍	学習者 レベル	居住地	学習者 5名	サポーター 名12
中国	A2	岡山市	1	6
インドネシア	A1	津山市	0	1
アメリカ		赤磐市	0	1
トルコ		倉敷市	2	3
	年代	笠岡市	1	0
	学習者 5名	ベトナム	0	1
	サポーター 12名			
	20代			
	30代			
	40代			
	50代			
	60代以上			

学習者 在留資格	
技術・人文知識・国際業務	1
家族滞在	2
留学	1
日本人の配偶者等	1

32

開催日	参加者数	
	学習者 5名	サポーター 12名
開催時間 11:00-12:00		
1/9 (金)	—	9
1/13(火)	4	7
1/16(金)	3	8
1/20(火)	3	4
1/23(金)	4	5
1/27(火)	5	3



33

コーディネーター所感

- 今回のオンライン講座は平日の昼間に実施したためか、家族滞在、日本人の配偶者、留学など属性が異なっていた。今後はターゲット層を吟味するとともに、レベル、トピックが選択できるコース設計を検討したい。
- 学習者の受講条件は原則として全回出席できることとしたが、いずれの学習者も仕事や私用で継続して参加することは難しいようなので、条件から外した方がよいと思われる。
- なるべく多くの学習者の時間的制限に合わせた開催時間帯の設定が課題。
- 学習者への広報を効果的にするため、外国人コミュニティのキーパーソンとの連携を深めたい。

34

- 名前の変更、画面共有、チャットやリアクション機能など、基本的なオンラインスキルの習得と実践例の共有を目指す。
- 教材共有のためにPadletを活用していく。
- 各自治体の地域日本語教室では対面でのイベント的な要素を入れて多文化共生的な面を担い、オンラインでは継続的な学習支援を行い、補完的に学習機会を提供できればよい。

35

6. その他

① 地域日本語教室の見学

- 9/11 津山さん・さん教室(津山市新魚町
アルネ津山 津山男女共同参画センター内)
- 9/16 津山高野公民館教室(同 高野本郷)
- 10/2 津山リージョン教室(同 大田 グリーンヒルズ
津山リージョンセンター内)
- 8/31 和気日本語教室(和気町尺所 和気中央公民館)

② Google Classroomによる教材・情報共有

(サポーター用、学習者用)

36

＜参考＞ 子どもの日本語教育支援団体との連携

橋本財団

<https://www.hashimotozaidan.or.jp/topics/detail/102>

居場所づくりネットワーク INE (いいね！)

<https://www.ineokayama.org/>

(4) 令和8年度 事業計画

事業名	令和8年度												令和9年度				
	上半期						下半期						上半期				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
空白地域の解消	日本語学習支援人材に対する研修等	オンラインやさしい日本語研修会 オンライン日本語勉強会 オンライン初期研修												オンラインやさしい日本語研修会 オンライン日本語勉強会 オンライン初期研修			
	日本語教室モデル事業	赤磐日本語教室 自走1年目 吉備中央日本語教室 通年開催												赤磐日本語教室 自走2年目 吉備中央日本語教室 自走1年目			
	オンラインによる日本語学習支援	オンライン日本語講座												オンライン日本語講座			
既存教室への支援	地域日本語教室への情報提供と交流	日本語学習サポーターオンライン交流会(年2回程度)												日本語学習サポーターオンライン交流会			
	人材育成	子ども日本語学習サポーター研修会 日本語ボランティアスキルアップ研修会												子ども日本語学習サポーター研修会 日本語ボランティアスキルアップ研修会			
	日本語学習支援実践	OPIEF日本語講座 子ども日本語学習サポーター派遣												OPIEF日本語講座 子ども日本語学習サポーター派遣			
環境整備	日本語学習リソースコーナーの運営												日本語学習リソースコーナーの運営				